

第2学年 美術科学習指導案

題材名 展示に託されたメッセージ（鑑賞） 1～2時間

題材のねらい

- 松井紫朗の展示された作品から作者の考えやメッセージをとらえる。
- 展示の意図や工夫などを読み取りながら美術展の魅力を味わう。
- 美術館の展示に関心をもち、生涯にわたって美術文化に親しむ心を養う。

学習の計画

- 事前学習（1時間） 松井紫朗の作品の鑑賞を通して美術館の楽しみ方を知る。
- 会場での鑑賞（適宜） あいちトリエンナーレ2010の展覧会を鑑賞する。
- まとめ（1時間） ワークシートをもとに発表する。（掲示でも可）

準備

生徒……教科書

教師……教科書、作品図版、ワークシート、プロジェクタ、デジタル機器など

学習過程

1. 事前学習 (1 時間)

時間	学習活動のながれ	教師の役割・指導上の留意点
導入 10分	<p>○教科書の作品を鑑賞する。</p> <p>①平田五郎の作品を見て思ったことを発表しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・きれいな白い箱 <p>②インスタレーションについて知る。</p> <p>③メッセージを推測してみよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・静かな気持ちにさせる。 ・瞑想的で自分を振り返らせる。 <p>④現代アートの作品の特徴を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・展示方法に意味がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書の文章を読み、展示には意図があることを知らせる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p><u>インスタレーションとは</u> ある特定の場所にオブジェや装置を置き作家の意向に沿って、空間全体を作品として体験させる芸術</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・平田五郎のインスタレーションについて指導書の説明を読む。 ・現代アートの作品展示には独特な手法が用いられていることから興味をもたせる。
展開 1 20分	<p>○松井紫朗の作品を見て、思ったことを話し合う。</p> <p>①この作品からどんなことが考えられますか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・素材は何？ 柔らかい？ 動く？ ・下から見上げたらどんな感じがするでしょう？ <p>②この作品の内と外はどんな関係でしょう？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どこまでが外？ どこまでが中？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・大阪証券取引所ビル内に展示された作品の写真か YouTube の動画を見せる。 ・ゴムの素材で細い口から空気が送り込まれ空中を漂っている。これ自体は彫刻と言えるが建物とつながっていてこの空間自体が作品である。 ・巨大な浮遊物のよさを感じ取らせる。 ・細い口の外から見ると内側が見え、内側と外側がつながっている。
展開 2 15分	<p>○あいちトリエンナーレ 2010 では松井氏がどんな作品を提示するか予想する</p> <p>①ヒントを聞きワークシートにイメージスケッチを描く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キーワードは「バルーン」「内と外」 <p>②ワークシートを提示して発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループで代表の生徒を選び、発表させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・どんな作品が展示されるか楽しみですね。自分だったらどんなふうにインスタレーションしますか？ <p>【ヒント】 2Fのロビーから吹き抜けにかけて展示される予定。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・OHCなどを利用する。 ・アイデアを出すことを楽しませる。
まとめ 5分	<p>○トリエンナーレへ鑑賞に出かけることを伝え、当日の鑑賞の視点を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品にこめたメッセージをとらえる。 <p>(会場での鑑賞マナーを確認する。)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・特別に見せてもらったアイデアスケッチをお見せしましょう。《あいちトリエンナーレ 2010 のためのプラン》を示す。 <p>評価 主体的に作品の展示の意図やおもしろさを味わうことができる。 (手引きを配布し確かめる。当日でも可。)</p>

2. 会場での鑑賞

時間	学習活動のながれ	教師の役割・指導上の留意点
60分	会場での鑑賞マナーの確認 ワークシート配布→記入→回収 ①松井紫朗氏の作品をみつけましょう。 ②どんな作品かスケッチしましょう。 ③作品についての説明を書きましょう。 ④実際に見たり触れたりして、感じたこと考えたことを書きましょう。 ⑤作者はどんなことを表そうとしたのでしょうか。 ⑥その他の作品を鑑賞する。	<ul style="list-style-type: none">・手引きにて確認する。・ワークシートに記入させ、鑑賞させる・作品の説明は、簡単に素材・大きさ・展示方法などを書かせる。・いろいろな疑問点には自分なりの考えや答えを書かせる。・未記入のものは後日回収でも可。

3. まとめ（事後学習・1時間）

時間	学習活動のながれ	教師の役割・指導上の留意点
50分	<ul style="list-style-type: none">・ワークシートをもとに発表会をする。・掲示できるようにまとめる。	<ul style="list-style-type: none">・グループで代表者の発表とする。・ワークシートは掲示し、評価の対象とする。

評価

- ・展示された作品を意欲的に鑑賞し、作者の考えやメッセージをとらえることができたか。
- ・現代アートの展示の意図や工夫などを読み取りながら美術展を楽しむことができたか。

備考

金魚と藻が浮かぶ奇妙な形の水槽や、丸く膨らんだテント状の空間に、有人宇宙施設「きぼう」で宇宙航空研究開発機構（JAXA）と「文化／人文社会科学利用パイロットミッション」として行った「宇宙庭」の映像を投影した作品もあります。